

平成26年度 SSR 産学戦略的研究フォーラム  
「大規模複雑な自己適応システムの適応進化  
制御手法に関する調査研究」  
第6回ミーティング

電気通信大学 田原 康之  
2015/1/16

# 議事次第

1. 論文調査進捗報告 田原
2. 事例調査の進め方 田原
3. プロジェクトのまとめ方 田原
4. 意見交換 出席者全員

# 論文調査進捗報告

- ▶ 第3～5回の3回+本日の事前ミーティングで報告
- ▶ 第3回(10月24日)
  - 田原3件(MODELS'13 Models@RT セッション)
  - 鄭先生1件(SEAMS'14)
- ▶ 第4回(12月8日)
  - 鄭先生7件(早稲田、NII 担当分)

# 論文調査進捗報告

- ▶ 第5回(12月19日)
  - 清先生8件(センサネットワーク、Safety & Cyber-Physical Systems、Swarm)
  - 堀田君3件(models@run.time ワークショップ enterprise & cloud セッション)
- ▶ 本日:まとめ方の議論

# 論文調査進捗報告

## ▶ 全体の印象(私見)

- いわゆる自己適応でないものも多い(静的適応、自己組織化など)
- 要素技術の範囲が広い:ソフトウェア工学、制御理論、ドメイン特化(クラウド、センサネットワーク、swarm、物理系など)
- 実用性が見えにくい

# 事例調査の進め方

- ▶ 前回ミーティングの意見を元に作成
- ▶ IPA 発行の2部の教訓集に記載の各教訓に対し、次の観点で分担して調査
  - 教訓集は Google ドライブ内の「事例調査」フォルダに配置
- 1. 各教訓の詳細を、できれば自身の業務や研究分野に照らして把握
- 2. 可能であれば、自己適応システム技術の適用可能性を検討

# プロジェクトのまとめ方案

## ▶ 成果一覧

- 論文調査
- 事例調査
- 研究成果: Tahara 他 SEAMS'15 to submit

## ▶ 今後の展望

- 事例調査で検討した教訓への自己適応システム技術の適用  
→ 実証実験の計画: クラウド or スマートハウス (or センサネットワーク?)